

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	節水等推進事業	会計名称	一般会計			担当課	環境保全課		
		予算科目	4 款	3 項	3 目	事業番号	2368	所属長名	小寺卓也
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）						担当責任者名	松野章彦	
法令根拠等	伊予市雨水貯留施設購入費補助金交付要綱、伊予市浄化槽雨水貯留施設改造費補助金交付要綱						実 施 期 間	【開始】	令和／平成 22 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造							【終了】	令和 年度(予定)
	潤いのある水環境づくり								☒ 設定なし
総合計画における本事業の役割	雨水を有効利用することで、循環型社会の構築に向けた取り組みの一助となる。								
事業の対象	市民				事業の目的	節水型まちづくりの一環として雨水の有効利用を促進し、節水意識の高揚を図る。			
事業の内容（整備内容）	節水及び水不足対策のため雨水タンクを設置する市民へ本体価格の1／2以内で上限3万円、浄化槽を改造する市民へ上限12万円の補助を行う。				評価事業としないこととした理由	対象が雨水タンク購入数が対象なので評価対象事業としない。			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	前 年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
財源内訳	直 接 事 業 費	148	330	0	0	0	15	雨水タンク補助件数	件	1	3	0	1
	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	浄化槽改造補助件数	件	1	2	0	0
	地 方 債	0	0	0	0	0	0						
	そ の 他	0	0	0	0	0	0						
	一 般 財 源	148	330	0	0	0	15						
職員の人工（にんく）数		0.05	0.05				0.05						
1人工当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費		548	721				406						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
						270	270	270	270	270	1,350		

事務事業評価（CHECK）

自己判定（担当責任者）	事業の成果	前年度は浄化槽改造工事が早々に要望があったが、今年度は改造要望がなかったので率先して啓発活動を実施する必要がある。					
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する		判断の理由	節水への意識向上を図るため、有効な節水手段の一助となる本事業は必要であり、事業継続と判断する。		

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	